

43
X

ボール

<逆走時の追い越し>

無死走者一・二塁。左中間にフライが上がったので二塁走者は二・三塁間で止まって状況を見ていたが、一塁走者はスタートを切って二塁走者の手前まで来ていた。フライが捕球されたので一塁走者は慌てて逆走したが、二塁ベースに戻ろうとした二塁走者に追い越されてしまった。この場合 追い越した二塁走者がアウトになる。 逆走時も後位の走者がアウト

44
X

★

<四球時のボールデッド>

カウント3ボールからの投球が暴投となりボールデッドゾーンに入った。この場合 四球+ワ
ンベースで二塁までの安全進塁権が与えられる。

打者は一塁止まり、走者は一塁に投球当時の占有塁から
(一塁までの安全進塁権) 1つの安全進塁権。

45
O

<牽制悪送球とボールデッド>

投手の一塁への牽制球が暴投となりボールデッドゾーンに入ったとき 投手板を外してい
た場合は2個、外していなかった場合は1個の安全進塁権が走者に与えられる。

「内野悪送球」「野手の悪送球」として扱う

46
X

<野手悪送球時の安全進塁権>

セカンドゴロを二塁手が一塁に悪送球してボールデッドゾーンに入った。この時、打者走者
には1個の安全進塁権が与えられる。

★打球を処理した野手の最初のプレー(送球) → 投球当時の占有塁から2つ

47
O

★

<ワインドアップポジションからの牽制球>

投手は、ワインドアップポジションからプレートを外さずに二塁に自由な足(軸足でない方の
足)を直接踏み出して牽制球を投げてよい。

内規で、ワインドアップの右投手は
サイムを見ているときはOK... 二塁手向へ踏み出して送球 → ボール」となる
左回りもOK

投球動作と
足が1歩だけ

自由な足で
プレートの上や後に
置いて投球動作に
入ることは
OK

ワインドアップ
自由な足は
プレートより前
に置くことは
OK

48
X

<ワインドアップポジションからのプレートの外し方>

投手は、ワインドアップポジションからプレートを外す時は、自由な足(軸足でない方の足)
から外してもよい。軸足から

49
X

★

<同一塁上の2走者と塁の占有権>

1死走者二 三塁。スクイズを試みたが外されて三塁走者は三・本間に挟まれた。その間に
二塁走者は三塁ベースに達し、挟まれた三塁走者も上手に逃げ三塁ベースに戻った。この
場合 先に三塁ベースに来ていた二塁走者に占有権があるので 三塁走者はタッチされ
ばアウトになる。

前進する走者に占有権
(この場合、三塁ランナー)

<スリーバント>

2ストライクからバントを試みたがファウルボールとなった場合 打者はアウトとなる。

この時点で「ボールデッド」で
打者アウト 走者は進めない。

50
O

<スリーバント失敗の定義>

無死走者二塁。2ストライクからバントを試みたが空振り三振となり、捕手がこのボールを落
したが、スリーバント失敗で打者はアウトなので振り逃げはできない。

空振りの時点で「スリーバント」不成立

(ゴロ)

51
X

<インフィールドフライが宣告される時>

無死走者一塁で打球は平凡なショートへのフライとなり、インフィールドフライが宣告された。

0・1アウト (バントの打球もフライに → 宣告しない)
1・2塁 or 満塁 (野手がふっつうの守備対象とすれば)

52
X

<故意落球の定義>

無死走者一 二塁で送りバントを試みたが投手への小飛球となったため、走者はスタートを
切れなかった。投手はわざと直接捕球せずにショートバウンドで捕球し、三塁へ送球、次い
で二塁へ転送されダブルプレーとなった。しかしこの行為は故意落球なので 打者アウトで
1死走者一 二塁となる。

「故意落球」→ 直接グラブや手で触れてから地面に落ちたときに適用

5-P

0 or 1アウト (バントの打球も対象に付る)
塁に走者がいるとき

宣告後、打者は直ちにアウト 走者は進塁できない ※インフィールドフライになった
打球には適用しない

内野で
守備している選手
(外野手として出ても適用)

53
X

54
O

<故意落球の定義>

無死走者一 二塁で送りバントを試みたが投手への小飛球となったため、走者はスタートを
切れなかった。投手はわざと捕球せずにグラブに当てて落とし、三塁へ送球、次いで二塁へ
転送されダブルプレーとなった。しかしこの行為は故意落球なので 打者アウトで1死走者一
二塁となる。

<インフィールドフライ>

インフィールドフライが宣告された打球がベースから離れている走者に当たった場合 打者と
走者の両方がアウトになる。

走者に当たった時点でボールデッド(当たった走者アウト)

ベースを離れた場合は

55
O

<インフィールドフライ>

インフィールドフライが宣告された打球がベース上にいる走者に当たった場合 打者だけが
アウトになり、走者はアウトにならない。

{ フェアゾーンで当たった → ボールデッド(走者そのまま)
ファウルゾーンで当たった → ファウルボール(インフィールドフライ取消)

57
X

★

<トンネルした打球が走者に当たった>

無死走者一 三塁。セカンドゴロを前進守備の二塁手が捕ろうとしたところトンネルした。
この打球が一塁走者に当たった場合 故意か否かに関らず 一塁走者はアウトになる。

他の内野手がカバーしているのに打球が捕まらなければアウト。
カバーしている状況で打球に触れればインプレー

58
X

<打撃妨害>

1死三塁。打者のバットにミットが触れたが打球は外野まで飛び犠牲フライとなった。この場
合 必然的に打撃妨害は無効となり1点入り2死走者なしとなる。

打者はアウトだが、走者は進塁できた → 打つたプレーヤーは送球するまで流す
→ 送りバント(監督) (死1三塁(犠牲0)) → 送球したら「タイム」を叫ぶ

<打撃妨害>

1死三塁。打者のバットにミットが触れたが打球はレフト前ヒットになり、三塁走者はホームイ
ンした。しかしこれは打撃妨害なのでホームインした走者は三塁に戻され、1死一 三塁となる。

打者は一塁にまで進塁できたが走者は全塁1個以上進塁できた
→ 妨害とは関係なくプレイ続行(送りバント)

<打撃妨害>

1死二 三塁。打者のバットにミットが触れたが打球はレフト前ヒットになり、三塁走者はホ
ムインしたが二塁走者は打撃妨害に気付いて進塁しなかった。この場合 1点入って1死一
二塁とするか、打撃妨害をとって1死満塁とするかを監督が選択することができる。

全員の走者が
進塁できなかった

1人でも進塁した時点で走者がいる → 送りバント(監督)
(送りバント)

60
O

<四球の定義>

1死走者二塁でカウント3ボール。次の投球はきわどいコースでボールの判定だったが、捕手
がバースボールをしたため二塁走者は三塁をまわって一気にホームインし、打者も二塁に達し
た。審判員はボールデッドなので走者を戻し1死一 二塁で再開した。

打球はボールデッドになる

61
X

<三振の定義>

3ストライクをとられた打者は必ずアウトになる。

振り逃げが成立すれば、塁にまよらぬ

{ 0 or 1アウト → 1塁が空いている場合
0・2アウト → 走者位置関係なし

62
X

ボール

<外野手の守備位置>

レフトは投手の投球前にあらかじめ二塁と三塁を結び線より前に守っていてもよい。

フェアゾーンはラジコンに付てもOK

63
O

6-P